

農作業特報

令和3年7月25日

黒 部 市
黒部市農業技術会議

「コシヒカリ」の出穂期は、平年並みからやや遅くなると見込まれます。今後は、病害虫防除を適期に実施するとともに、適切な水管理や追肥により稲体の活力を維持し、産米の品質向上に努めましょう。

1 コシヒカリの追肥

梅雨明けが7月14日と平年より9日早く、8月以降の気温は平年並みか高くなると予報されています。稲体の活力を維持するため、穂肥（LP 追肥38号）施用後も葉色が薄い場合や、基肥一発栽培でも葉色が薄い場合は、追加穂肥を施用しましょう。

【追加穂肥の目安】

出穂10～7日前(7/26～29)に
葉色が4.2未満(壤土は4.0未満)

早急に追肥を!!

追肥3号

5～7 kg/10a

※遅くとも8/1頃までに
施用しましょう。

2 病害虫防除

畦畔・雑草地等における斑点米カメムシ類が平年より多く発生しています。

出穂状況を確認し、適期に防除を行いましょう。

【コシヒカリの基本防除の目安：粉剤または液剤の場合】

防除時期	防除日(目安)	使用農薬	散布量(希釈倍数)	使用基準(収穫前日数)
1回目出穂期	8/4	粉剤:ビームモンカットスタークルF粉剤DL	4kg/10a	14日前まで
		または 液剤:ビームエイトスタークルソル +モンカットフロアブル	150ℓ (1,000倍)	14日前まで
2回目穂揃期	8/11	粉剤:キラップ粉剤DL	4kg/10a	14日前まで
		または 液剤:キラップフロアブル	150ℓ (1,000倍)	14日前まで

- 散布時期の間隔は7日間を目安とします。(10日以上あけないように)
- **畦畔雑草にも薬剤がかかるように散布しましょう。**
- ラベルの記載事項を確認してから使用しましょう。
- 風向きと風速、散布量等に注意し周辺の作物への飛散防止に努めましょう。

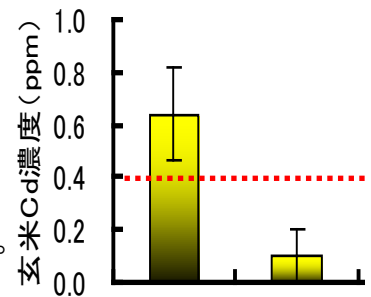
3 出穂後の水管理

稲の活力維持と品質向上、カドミウム吸収抑制のため、出穂から20日間は田面が出ないよう、湛水管理を徹底しましょう。

【湛水方法】

- 水深3cm程度に湛水し、田面が露出する前に再度入水する。
- みんなで協力し、限りある用水を有効に利用する。

- 水のかけ流しは絶対しない。
- 水尻はしっかり止める。
- 畦畔から漏水がないか点検する。



間断灌溉 20日湛水

図 水稻の出穂後の水管理と玄米中のカドミウム濃度
産米流通対策地域の県有施設
ほ場試験結果(農研コシカリ)

20日間の湛水管理の後は、収穫の5～7日前まで間断かん水を行いましょう。